

行政視察等報告書

平成29年 3月22日

境港市議会
議長 岡空 研二 様

会派名 公明党
代表者 田口 俊介



下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

記

1 視察等期間	平成29年2月21日（火）
2 視察等先 及び内容	平成29年2月21日（火） 9:45～12:20 岡山県瀬戸内市邑久町尾張465-1 瀬戸内市民図書館「もみわ広場」 視察内容 瀬戸内市民図書館の概要と取り組みについて
3 視察等議員	足田 法行
4 総 経 費	合計（1名）2,882円 （一人当たり 2,882円） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所 見 等	別紙のとおり

内 容：瀬戸内市民図書館の概要と取り組みについて

報告者：足田 法行

説明対応：総務文教委員会副委員長 島津 幸枝 氏

瀬戸内市議会事務局長 出射 正 氏

瀬戸内市民図書館長 嶋田 学 氏

概要：瀬戸内市は3町が合併し人口3万7千人の農業と陶芸のまちです。「もみわ広場」とは、瀬戸内市民図書館の基本理念で「もちより・みつけ・わけあう広場」の頭文字をとって名付けられた公募による愛称で、暮らしや仕事、また夢や未来を考える中で生まれた疑問や課題を「もちより」、その解決方法や展望を「みつけ」、そして、そうした気付きや発見を、図書館に集う市民のみなさんと「わけあう」ことのできる、そんな「広場」を目指しています。

瀬戸内市は新図書館の建設準備を進める中で、市民のみなさんが自由に意見交換をするためにワークショップ形式の「としょかん未来ミーティング」を12回開催しました。そこで出た意見は実施計画図に反映されました。「としょかん未来ミーティング」《子供編》では、企画運営委員を公募し、14名の中高生と3回の企画会議を行い、2日間にわたって70名の子どもたちがワークショップに参加し、そこで出た意見は、グループ学習ができる「チャットルーム」やライトノベルの棚づくりに活かされています。

地域文化の掘り起こしとして館内に、邑久町出身の人形師・竹田喜之助の系操り人形が展示されている「喜之助ギャラリー」や、地元の人形劇団体が定期公演を行う専用の舞台設備を有した「つどいのへや」などがあり図書館ボランティアが活躍しています。

サービスの概要の特色として、図書館サービスネットワーク、郷土展示機能による地域学習の推進、生涯学習拠点化事業、学校図書館支援、市民ボランティアとの連携による諸活動があります。開館以来、幅広い年齢層の市民が訪れ、1日平均800人の来館者があります。

所見：概要説明と図書館を案内してもらって、感じたことは、ワークショップを重ねることで市民の意見が館内の随所に反映されていて、市民参加の図書館作りになっていること、計画初期段階からの経験豊かな図書館長を配置したことが成功の鍵だと思いました。明るく開放感のある館内、目的別に配置され、探しやすく、ICTの活用など魅力的な図書館になっています。

本市でも市民交流センター長と図書館長の設置が今から必要です。特に子供たちや高齢者のボランティアなどを育て広げるために、図書館を含めた市民交流センターの利活用を考えるための市民参加型の交流センター未来ミーティングのようなワークショップを開催すべきです。